



松溪中図書館だより

2024年2月
杉並区立松溪中学校
学校司書 新木

特集！『正しい』を考えよう！ & 新着図書紹介(読書郵便より)

今週、1・2年生は朝読書の返却強化期間です。3学期に配布された本を一度も交換していない人は、返却して新しい本を借りて読みましょう。引き続き同じ本を読む人は、延長手続きに来るか、図書委員に伝えましょう。

冬にオススメ
心あたまる本



しおりは
5種類の犬



読書郵便より (図書館内にも展示中！)

読書郵便の日めくり

夏休みの宿題、読書郵便。西田小・桃井第二小に作品交流で送った作品を中心に掲示しました。図書館内の展示や、ラウンジには日めくりもあります。紹介文を読んで、ぜひ興味を持った本を借りてください。



図書委員おすすめ本展示中！

* 昨年好評だった猫のしおりとお布団のブックカバー。今年は犬バージョンです。図書委員が冬にススメの本を選びました。
* 本を2冊借りた人にも犬のしおり又はブックカバーをプレゼント
(ただし、延滞本がないこと)
—少年写真新聞社HPよりダウンロード—

『ゴリラ裁判の日』

須藤古都離／著

手話ができ、言葉を理解するゴリラのローズ。アメリカの動物園で楽しく暮らし始めた矢先、ゴリラエリアに転落した人間の子どもを命を守るために夫のオマリが銃殺されます。ローズは動物園を訴えますが全員一致で棄却されます。「正義は人間に支配されている」と一度は諦めかけたローズでしたが再び法廷へ…。ローズの生い立ちや、裁判後の暮らし、ゴリラと人間の間に彷徨う孤独などがひしひしと伝わる物語、「人間の定義」とは？裁判の行方も気になります！

『これから「正義」の話しよう』
マイケル・サルティン／著
* 正義に対する3つのアプローチを提示

『いったい何が正しいのか？』
～読むことは、考えること！～

『「くうき」が僕らを呑みこむ前に —脱・サイレント・マジョリティー—』

山田健太／著

副題にある「サイレント・マジョリティー」とは、物言わぬ多数派。忖度し同調圧力が働き、空気でも多数決が決まってしまう。何がひっかかったのかよく考え自分の言葉で伝える、身近な事例が四コマ漫画入りで紹介されています。

『もしも地球がひっくり返ったら』川村康文／監修
* ありえない状況を想像して、どうしてそうなるのかを考える！

『“正しい”を疑え』

真山仁／監修

激変する時代の中で、情報をどう見極めればいいのか。自分を信じ自分らしく生きるヒント

『客観性の落とし穴』

村上 晴彦／著

客観性を重視するあまり、人間を数値によって序列化し、弱い立場の人が排除される結果にも。統計などでは見落とされる個人の経験や語りも大切だと伝える本。

『チーズはどこへ消えた？』

スペンサー・ジョンリン／著

この本は二匹のネズミと2人の小人が幸せを求めて冒険する話です。冒険する中で、生きる上で大切なことに気がつくという場面がたくさんあり、読んでいる側もこれからの生き方について考えさせられます。短時間でも読めるのでぜひ読んでみてください。
(感想)私はこの本を読んで変化は必ず起こること、それに素早く対応することが大切だということに気がついた。…(省略)

(3A Oさん読書郵便)

* 本当の自分を知る練習問題80 『ココロの盲点』 池谷 裕二／著

人間の脳は、成長するにつれ人生経験が豊富になり、直感が働くようになりませんが、認識と事実とズレが生じる場合があります。この「認知バイアス」について、80を選定し、クイズ形式で紹介されていて、自分の脳のクセを実感できる本です。

『モノクロの街の夜明けに』

ルータ・セペティス／著 野沢佳織／訳

チャウシェスク政権下のルーマニア。反政府思想の持ち主である祖父を尊敬していた17歳の高校生クリスティアンが、弱みを握られ密告者に仕立てられます。秘密警察によって張り巡らされた監視社会。親友・恋人・家族への不信任、何より自らが密告者になってしまったことへの恐怖や葛藤が少年の目を通してリアルに描かれています。密告社会という人間の信頼関係を壊すような悪政、それに翻弄されながらも抵抗する勇氣、時代を超えて考えさせられる一冊。

002	学問のすゝめ	*リ	福沢 諭吉	岩波書店	「クリックペイド」「情報商材」…。危険を回避し快適なネットライフを過ごすために重要なキーワードをピックアップして解説。
007	最新ネットのキーワード図鑑		島袋コウ/監修	旬報社	
141	自分では気づかないココロの盲点		池谷 裕二	講談社	「認知バイアス」を80のクイズ形式で実感!
159	やる気に頼らず「すぐやる人」になる37のコツ		大平信孝	かんき出版	永関先生推薦、行動スイッチの入れ方を知る!
159	ブッタとシッタカブッタ いのちのオマケ 上下巻		小泉 吉宏	KADOKAWA	八明先生推薦。悩めるシッタカブッタが、ブッタのブッタに諭されながら生き方を見つめ直していくコミックエッセイ最新刊!
164	マンガでわかるギリシャ神話	*リ	佐藤 俊之/監修	誠文堂新光社	
210	知られざる古墳ライフ		響田 亜紀子	誠文堂新光社	なんと、総工費796億(仁徳天皇量)!!古墳人の暮らしぶりや社会のしくみ、なぜ古墳がつけられなくなったのかなどを紹介。
301	客観性の落とし穴		村上 晴彦	筑摩書房	
311	「くうき」が僕らを呑みこむ前に		山田 健太	理論社	
320	おとな六法		岡野武志 他	クロスメディア	
334	世界がわかる資源の話		鎌田 浩毅	大和書房	
334	カメラにうつらなかった真実		エリザベス・パトリック	徳間書店	「水格差」「レアメタル争奪戦」「半導体不足」、あらゆるテクノロジーや世界情勢を左右するかぎとなる「資源」を知れば、我々の生活の裏側が見えてくる!
404	もしも地球がひっくり返ったら		川村 康文/監修	学研プラス	目に見えない電気が引き起こすさまざまな現象を頭の中でイメージしながら理解していくワクワクしながら読める本。
540	電気、わからんと思ったときに読む本		田沼 和美	オーム社	
675	スマホアプリはなぜ無料?		松本 健太郎	河出書房新社	スマホゲームやアプリと賢く付き合う方法
723	おはなし名画シリーズ	1	ゴッホとゴーガン ・7 マネとモネ	博雅堂出版	絵が鮮やかな絵本画集。色を忠実に再現、子どもが本物の芸術に触れられるように、難解な解説は載せず、名画とともに画家の生涯を辿り、その人間性に迫る。
723		3	ルノワールとドガ ・9 ダ・ヴィンチとミケランジェロ		
723		4	アッピ・ルソーとシャガール ・17 フェルメールとリブレラント		
910	見て味わう×読んで知る平安時代の古典と文化		川村 裕子/監修	童心社	源氏物語・枕草子・竹取物語・平家物語
913	教室のゴルディオックスゾーン		こざわ たまこ	小学館	
913	天保の虹	*リ	斉藤 洋	偕成社	女子中学生の不安定で複雑な人間関係を描いた6編からなる連作短編小説。「僕には孤独のお蔭で出会えたものがたくさんある」(教育実習生の言葉より)
913	ゴリラ裁判の日		須藤古都離	講談社	
913	一線の湖		砥上 裕将	講談社	
913	魔女と過ごした七日間	*リ	東野 圭吾	KADOKAWA	「線は、僕を描く」の続編。大学3年生の霜介は、失敗や進路の悩みにもがきながらも、小学生に水墨画を教えたことをきっかけに成長していく姿を描く。
913	保健室経由、かねやま本館。 4~6巻		松素 めぐり	講談社	
913	続 窓ぎわのトットちゃん	*リ	黒柳 徹子	講談社	42年ぶりの続編。「窓際のトットちゃん」が、戦中の疎開生活や戦後の混乱期を、持ちまへの元氣よさで生き抜いていく姿や当時のくらしが描かれます。
933	チーズはどこへ消えた		外山 滋比古	講談社	
933	モノクロの街の夜明けに		ルータ・セベティス	岩波書店	
B913	文豪ストレイドッグス 太宰を拾った日	*リ	朝霧 カフカ	KADOKAWA	イギリスでの安定した仕事や家族を捨てパリへ旅立った、天才画家の情熱の生涯を描いた名作。画家ゴーギャンがモデル。
B933	月と六ペンス		サマセット モーム	新潮社	

『「未完成」なぼくらの、生徒会』

麻希 一樹/著 KADOKAWA

今年から共学になった通称「神高」に入学した私が出会ったのは、変人だらけの生徒会メンバーだった。彼らと私をつなぐある「秘密」とは…?
最初から最後まで面白い感動作です。泣きたい人、青春感じた人、是非読んでみてください。(2B Yさん)

『傷のあるリンゴ』

外山 滋比古/著 東京書籍

(推薦文)この本はさまざまな知識や雑学が短編集として書かれています。新たな発見や面白い知識がたくさん載っています。物事を外見で判断するのではなく、そのものをじっくりと観察することで新たなことに気付くきっかけになる本だと思います。
<感想>人によって話の内容が合わない人がいるかもしれませんが、合計30の話があり、どれも短いので、飽きずに読むことができます。私は(II)が面白かったです。(3C Wさん)



読書郵便で紹介された本を購入しました第2弾!

『金の角持つ子どもたち』藤岡 陽子/著 集英社

この本は、小6になる俊介が、夢だったサッカーをやめ、突然塾に行きたいと言い出し、日本最難関といわれる中学を目指す話。実は彼には誰にも言えない秘密があって…。夢を目指したい人、感動小説が好きの人にオススメ!!
<感想>私は、この本を読んで、諦めずに前へ進んでいくことの大切さに気付いた。この本の中で俊介は周りの人にも希望を与えていた。私も自分を信じ前を向いていける人になりたい。(1A Kさん)

『「のび太」という生き方』

横山泰行/著 株式会社アスコム

この本は、ドラえもんの主人公「のび太」の生き方について、くわしく研究されている著者が書いています。のび太は一見落ちこぼれに見えますが、クラスのマンナナしずかちゃんと結婚し、幸せな生活を送ります。この本は「のび太」のような無理せず自分らしく生きたいという人にオススメです。
<感想>ぼくはこの本を読んで、のび太のようにほぐく、自分のペースで物事を進めて人生を歩みたいと思いました。でものび太を見習いすぎるとうま人間になってしまうので少し見習いたいです。(1C Tさん)

『四畳半神話大系』森見 登美彦/著 角川書店

この本は4つの平行世界で繰り広げられる話です。主人公の「私」は冴えない大学3回生で、大学入試当時は、バラ色のキャンパスライフを想像していたが、現実はずいぶん違ったという話です。
<感想+推せん文>この本のおススメポイントが「私」の悪友である小津です。彼は、主人公を振り回す存在ですが、口調などがどこか憎めません。小津は私が推すキャラクターです。物語の中でも重要な人物ですので注目して読んで下さい。(1B Iさん)